

東三河振興ビジョン【主要プロジェクト推進プラン】～地方創生事業の広域展開～の概要

I【策定方針】

- <テーマの設定> 平成27年度は、地方創生総合戦略の策定年度となることから「地方創生事業の広域展開」をテーマに選定
東三河地域への「新しいひとの流れ」をつくることを目指す
- <位置付け> 県、市町村、広域連合、経済団体、観光関係団体、大学、民間事業者、NPO等が連携・協働して展開する実施計画
- <策定主体> 東三河ビジョン協議会（県、東三河の8市町村、広域連合、経済団体、大学等で構成）
- <計画期間> 平成28年度から平成31年度までの4年間（地方創生総合戦略の計画期間の終期と整合）

<2つのリーディングプロジェクト>

地域が一体となって重点的に取り組むリーディングプロジェクトとして、次の2つを位置付け、具体の取組を展開

1 「ほの国」東三河ブランド戦略の推進

より訴求力の高いブランドイメージの確立に向け、地域全体で東三河の魅力に対する理解を深めながら、発信すべきセールスポイントの相互共有やターゲットを明確にした情報発信を推進

2 産学官連携による産業人材の育成・確保

各主体が実施する産業人材育成事業を効果的に連携させるとともに、「東三河ブランド戦略」の取組内容も活かしつつ、地域産業を支える人材を地域外から呼び込む取組を推進

II【各リーディングプロジェクトの主な取組内容】

1 「ほの国」東三河ブランド戦略の推進

(1) 東三河のブランドイメージ確立と相互共有

- ・ 大都市圏の人々から評価される「東三河の快適な暮らし」を伝える様々なストーリーを作成、ターゲット別に整理し、広く周知
- ・ ターゲットを明確にしながる各地域資源のさらなる磨き上げを継続
- ・ 広域連携のメリットを活用した取組を通じ、東三河の一体感を醸成しながら、ブランドイメージを共有

(2) ターゲットを明確にした情報発信

- ・ 地域外に向けたPR活動を充実させるとともに、首都圏等の消費者、外国人を対象にしたアンケート調査を実施するなど、地域外の視点も重視してPR素材を絞り込み
- ・ 首都圏在住の東三河地域出身者との連携、知名度の高い既存ブランドを活用したPRなどにより、発信力を向上

<推進体制>

- ・ 東三河で一体的に進められる取組に関しては、「東三河県庁」と「東三河広域連合」との連絡調整を通じて、適切な役割分担のもと、効果的な事業実施を推進

III【推進プランの進捗状況の把握及び見直し】

- 県、市町村、広域連合が連携・協力しながら、毎年度、推進プランに基づいて実施する取組の進捗状況の把握及び評価を実施し、東三河ビジョン協議会へ報告
- 東三河ビジョン協議会において、社会経済環境の変化を踏まえて随時ローリングを行うなど、柔軟に見直し

2 産学官連携による産業人材の育成・確保

(1) 産業人材育成事業の活性化

- ・ 「社会人キャリアアップ連携協議会」が一元化を進めている人材育成プログラムの情報等を共有し有効活用することで、新規講座の開発をはじめ、産業人材育成事業の連携・充実を推進

(2) U I J ターン等による産業人材の確保

- ・ 東三河のブランドイメージ確立や東三河の情報発信の取組と連携させながら、U I J ターン及び交流居住の取組を進め、産業人材を確保
- ・ 山間部においては「地域おこし協力隊」をはじめとする外部人材との協働等を通じて「なりわいづくり」を推進し、雇用の場及び人材を確保
- ・ 地域資源を活用した起業支援、女性が活躍できる場としての産業創出の支援や、「ふるさと」に対する愛着や誇りを高める施策を推進

<推進体制>

- ・ 「東三河地域産業連携推進会議」において、情報共有・連絡調整を図りつつ、「社会人キャリアアップ連携協議会」による取組については、「東三河広域経済連合会」を始め産業界との連携をより密にさせながら、戦略的な人材育成事業を推進

IV【平成27年度先導事業】

- 1 「『ほの国』東三河ブランド戦略の推進」関連事業
 - ①首都圏プロモーション事業
 - ②東三河魅力発信ストーリー集等作成事業（愛知県事業）
 - ③「まるごとにつぼん」への出展（豊橋市事業）
 - ④東三河アンテナショップ実現可能性調査（東三河広域連合事業）
- 2 「産学官連携による産業人材の育成・確保」関連事業
 - ①若者のUターン就職促進事業（愛知県事業）
 - ②講座ニーズ・シーズ調査、人材育成講演会（社会人キャリアアップ連携協議会事業）